

□ 要請番号 (JL00925A05)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
マレーシア	G102 環境教育	20~45 歳のみ	個別	交替 8代目	2年	・2025/3・2026/1・ 2026/2



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

観光・文化・環境省

2) 配属機関名 (日本語)

サバ州湿地保全協会 コタキナバルウェットランド
NGO

3) 任地 (サバ州コタキナバル) JICA事務所の所在地 (クアラルンプール)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+バスで約4.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

コタキナバルウェットランドは、都市部に位置するマングローブ湿地で、サバ州湿地保全協会が管理運営している。1996年にバードサンクチュアリ(鳥類保護区)として運営が始まり、2000年には一般公開を開始(開園)、2013年に現在の名称に改名した。2017年、コタキナバルウェットランドはラムサール条約に登録された。湿地の環境保全の重要性が広く認知されるように、「保全・教育・余暇・観光・研究」を軸に、国内外からの観光客や学生、地域住民向けの環境教育やマングローブの植林活動などを実施している。2007年以降、短期隊員を含む7名の海外協力隊を派遣している。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、コタキナバル市街地から約3km離れた郊外の住宅街に隣接している。敷地内には見学用ボードウォークが整備されており、マングローブの重要性を啓発するための展示ホールも設けられている。国内外からのスタディツアーや研修の受け入れ、企業のCSR活動の一環としてマングローブ植林プログラムを運営するなど、湿地保全のための活動を行っている。過去の隊員は、環境教育プログラムの立ち上げ、ウェブサイト改良、QRコードを取り入れた園内プロモーションの実施などを行った。スタッフは環境に関する専門知識を持つが、限られた人材と資金の中で、湿地の重要性をより効果的に啓発する運営ができるよう、新しいアイデアの共有や企画・実施が期待され継続した隊員の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

同僚スタッフと協力して、おもに以下の活動を行う。

1. 日本を含む国内外からの訪問者向けに、効果的で魅力的な環境教育プログラムを企画・実施する。
2. マングローブ湿地保全の重要性に対する理解を促進するため、より効果的な啓発活動を提案・実施し、ウェブサイトやソーシャルメディアを利用した広報活動も行う。
3. 補助金や寄付金に頼らない運営が成り立つような仕組み(新しいエコツアーパッケージなど)をともに考え、提案する。
4. 湿地帯近隣の住民に対して、生活排水や家庭ごみの流入問題についての啓発活動を実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

電話、FAX、プリンター、インターネット、スキャナー、セミナールーム、メンテナンスに必要な用具、長靴など

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・ Manager(30歳代女性)、・ Accountant(20歳代女性)
- ・ Conservation & Science Officer(20歳代男性)
- ・ Conservation & Education Assistant(20歳代男性)

活動対象者:

- ・ 観光客、スタディツアー参加者、生徒・学生、地域住民など

5) 活動使用言語

マレー語

6) 生活使用言語

マレー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： (大卒) 備考：同僚の学歴を考慮

[性別]： () 備考：

[経験]： () 備考：

[汎用経験]：

- ・ 環境関連活動の経験や知識

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (熱帯雨林気候) 気温： (25～35℃位)

[電気]： (安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (安定)

【特記事項】

配属先は火曜日から日曜日まで開園しており、月曜日が休園日となっている。週末や祝日も営業しているため、シフト勤務が予定されている。